

会 議 報 告 書

1. 概 要

会 議 名	令和元年度 行財政改革推進委員会（第2回）		
日 時	令和元年7月26日（金） 9:30～11:45		
場 所	本庁舎 防災会議室		
議 事 結 果 概 要	<p>（1）行財政改革プラン(案)について 【資料1】</p> <p>○提出案に対し、修正意見をいただいた。 ○委員意見を反映させ、パブリックコメントによる町民の意見を募集する。</p> <p>（2）使用料・手数料等の適正化に関する基本方針について 【資料2】</p> <p>○提出方針案に対し、修正意見をいただいた。 ○意見を反映した基本方針(案)を策定し、次回委員会に提出。</p> <p>（3）事業レビュー対象事業の選定 【資料3】</p> <p>○委員会で各委員から候補に対し、委員会で議論いただいた。 ○最終決定に至らなかったため、委員会での意見を基に対象事業を委員長、副委員長が協議し決定することで、全委員の了承が得られた。 ※委員会終了後、委員長、副委員長により協議し、別紙のとおり、9事業を決定。</p>		
出 席 者	委 員 (8名)	福島 浩彦（委員長） 山根 弘和（副委員長） 野津 伸治 加藤 公司	藤井 辰美 森下 義雄 尾崎 智恵美 谷本 香奈子
	事務局	小松町長、山口副町長、小林教育長、山田総務課長 鈴木チーム長 ほか管理職 14名	
欠 席 者	なし		
傍 聴 者	2名		

2. 決定事項、委員意見【要約】

(1) 行財政改革プラン（案）について 【資料1】

◆決定事項（プランの修正事項）

- 「シティプロモーション」は、地方創生事業として、琴浦町に必要な「関係人口」を整理した上で取り組むこととしているため、本プランからは削除する。
- 本文「今後の財政収支見通し」に主要な歳入である地方交付税の今後の見込みを記載する。
- 町民の意見を聴く手法は、「町政を語る会」など新たな取組ではなく、既存の地区別懇談会などをより町民から意見をいただく方法へ転換する。（行事が増えることも抑制が必要）
- 本文「民間と行政の連携」の内容について、「新たな行政の役割」など行政体制のあり方の見直しや意識改革を文章化し追加する。
- 補助金は、3年で廃止するのではなく、3年で見直すことが分かる表現に修正が必要。
- 用語の解説の内容、文体を整理するとともに、本文中に用語解説を参照することを記載。
- まちが目指す「スマート自治体」を本文中に記載する。
- 「広聴」、「現物給付」、「賦課」、「地区別懇談会」、「スマート自治体」など、町民にわかりやすい言葉へ修正、解説の追加が必要
- 公共施設と公の施設の違いを整理。

◆意見等

- プランの実行成果として、予算総額の減少など数値化した目標も必要
 - ⇒基金残高、起債残高など、どのような目標を設定するかは今後検討する。
 - アクションプランでは、各取組で数値目標を設定し、進捗を管理する。
- 本委員について、町民の増員を検討すること
- 基金が枯渇した場合に行政にどのような影響がでるか？
 - ⇒従来の行政サービスの低下や職員人件費、賃金カット
- 無作為抽出で選ばれなかった町民が意見を言える機会を検討
 - 【例】レビュー前にパブリックコメントにより意見などの手法
- 補助を受ける側同士がどのような補助を受けているのか、オープンの中で議論することが必要。
 - 【例】千葉県我孫子市では、一旦全ての補助金を廃止し、補助金の公募を行い、オープンな場で議論し、採択する手法を行った。 ※既存の補助事業も応募可能
- 他の自治体や民間で実績のあるICTなどの活用事例を具体的に示した方がよい。
 - ⇒国のモデル事業等を参考にしながら、今後、具体的に検討していく予定。

(2) 使用料・手数料等の適正化に関する基本方針（案）について 【資料2】

◆意見等

- 町民の方にも示す具体的な使用料、手数料及びその公的負担の割合の一覧表が必要
 - ⇒一覧表を作成し提示する。公的負担割合についても、委員会で議論いただく。
- 「基礎的サービス」の定義は、「大半の町民」などの数ではないため、整理が必要

(3) 事業レビューの選定について 【資料3】

◆意見等

- 「地域おこし協力隊」は、国の制度であるが、全体経費は1,200万円にも及びその効果の検証が重要
- 「公民館活動」については、地域で「地域運営組織」の取組を検討中とのことだが、当事者でない納税者である町民が事業レビューで議論することは、非常に適切だと思う。
- 「白鳳祭」は、今年度は町主体から民間主体に運営が変わったが、町民の大多数がその運営の苦勞を知らないのので、それを知るきっかけとして選定してもらいたい。
また、琴浦町の夏の風物詩としてどう大切にするかという視点でも選定いただきたい。
- 「農業後継者の結婚支援事業」で後継者を男性に限定しているのはおかしい。レビューにかけるまでもなく見直す必要がある。
なぜ、町内の男性を限定しているのか。全国から男性を募集しないのか。
- 「社会福祉協議会補助金」もその苦勞等を町民に知ってもらう意味で選定したい。各団体に補助対象経費が異なるので数団体を選定しても良いと思う。また、横並びで比較して選定しても良いと思う。
- 「地域おこし協力隊」についても国の制度ではあるが、その成果を町民に知ってもらう意味もあるが、成果発表会をしたのでレビューの対象としなくても良いのではないかと。
- 斎場管理について琴浦町のみでの運営か、中部圏域のみで運営するのかを議論できれば良い。これを切り口に他の同様の事業へ良い影響があると思う。
- 外郭団体と町との関係について、非常にあいまいなものがある。
観光協会に観光情報の発信を委託しているが、観光協会の本来事業だと思う。
- 運営費補助の選定は、横串するのか並べて比較するのか、両方の考え方があると思う。
- 委員会で出た意見を踏まえながら委員長、副委員長が協議し、選定しても良いか？
⇒全員承認

- 委員会終了後、委員長、副委員長による選考により下記のとおり、対象事業を決定した。

事業レビュー対象事業（9事業）

- ①地域おこし協力隊員活動事業
- ②斎場管理事業
- ③公民館活動事業
- ④白鳳祭
- ⑤交通費助成制度（4制度）
（交通空白地タクシー助成、障がい者交通費助成、外出支援タクシー利用助成、腎臓機能障がい者交通費助成事業）
- ⑥シルバー人材センター運営費補助金
- ⑦社会福祉協議会補助金
- ⑧商工会補助金
- ⑨観光情報発信業務委託